



長久保赤水 関係資料群693点 国の重要文化財指定記念

NAGAKUBO SEKISUI • INPORTANT CULTURAL PROPERTY MEMORIAL

NAGAKUBO SEKISUI



国の重要文化財指定記念・長久保赤水オリジナルクリアファイルを制作。
高萩市内の幼稚園、小・中学校の子どもたちに贈呈。一般にも販売中です。

オリジナルクリアファイル 2種1セット(200円)
5セット以上でご注文ください。

飛耳長目

長久保赤水顕彰会会報

発行責任者

佐川春久



令和3年7月1日
会報第31号

長久保赤水関係資料

国の重要文化財
指定記念誌

長久保赤水と山本北山

漢詩論をめぐって

狂言師・和泉元彌さんが推薦文と祝辞を寄せています。

好評販売中

B5版・182頁
定価1,100円(税込)



長久保赤水の生涯を辿り
持つべきは「志」と知る



狂言和泉流二十世宗家 和泉 元彌

私が長久保赤水を演じた今回の映像作品が架け橋となり、長久保赤水の偉業とその魅力がより多くの方に伝わり、日本の未来を背負って立つ若人が、茨城県民が、日本国民が、県下に、全国に、世界に誇る偉人・長久保赤水を知り、国際社会の中で胸を張って世界に伍することを願っております。



長久保赤水自画像

長久保赤水関係資料群693点は、長久保赤水の子孫にあたる複数の家などに伝来した赤水手沢の一括資料で、地図・絵画84点、文書・記録類279点、典籍類274点、書画・器物類56点から構成される。
赤水の学問の内容、交友関係、生涯の業績を考える上で最もまとまった資料群で、江戸中後期の文化史、地図史などの学術的な研究上で価値が高い。

赤水図を教材とする新しい 地図教育の全国モデルをめざして

拝啓、このたび日本大学経済学部(地理学・地理教育研究)の教授で、文部省と文科省合わせて初等中等教育局教科書調査官(地理)を13年間務め、現在、日本地図学会 常任委員長の卜部勝彦教授が、高萩市の3つの中学校において長久保赤水顕彰会が用意する『5倍の大型床敷赤水図、4.23m×6.44m』を活用し、生徒達の眼下にある大きくて正確な『赤水図』上を、実際に移動して地図を読み取るという新しい授業を、早ければ9月にそれぞれの中学校で実施する予定です。今までの小さな地図を用いる授業と違って、地図を読み取りやすくする「5倍拡大地図上を移動し臨場感のある授業」と、中学生自身が扱うタブレットで「赤水図と現代の日本地図との比較」など電子データを見ながら、「生徒の協働作業で考え他人の意見に触れて理解を助ける授業」により、これまでにない新しい地図教育をめざしたいと考えています。

この新しい授業形態を維持発展させるためには、卜部勝彦教授による今回の授業の意義を講演する場を設け、更にその授業風景(授業風景ビデオ)を生徒の保護者などにご覧いただいた上で、その良さをご理解いただき、同時にご意見をいただく考えです。更に『長久保赤水』を知っていただくために、高萩市製作で和泉元彌氏が主演した『その先を往け! 日本地図の先駆者 長久保赤水』の映像(約50分)を借用し、高萩市文化会館ホールで上映し(コロナ感染予防目的で収容人数600人に対し制限をする場合あり)、出来れば上演前に和泉元彌氏に演じた体験からの『赤水の魅力』をご講話いただく事により(ビデオレターの場合あり)、「長久保赤水」の功績と人となりをお伝えし、更にそれらの様子を全国配信して、高萩市を新しい地図教育の全国モデルケースの発祥地にしたいと考えています。

この計画を実現するため、皆様からのご支援を賜れたなら幸いです。

敬 具

以下に、拡大床敷赤水図の上で卜部教授が講義するイメージを示しますので、教科書上で行う授業との違いをご覧ください。



3倍床敷赤水図上で講義の見本案を示す卜部教授
(高萩市歴史民俗資料館にて)



5倍床敷赤水図上で解説する卜部教授
(2019年日本地図学会松山大会にて)

教材としての「赤水図」 拡大タペストリー 拡大床敷赤水図・素材別製作費・比較一覧表

以下見積額は税別
納期は詳細見積時

素材の名称	原寸大 H84.6×W128.8	2 倍 169.2×257.6	3 倍 253.8×386.4	5 倍 423.0×644.0	仕様・条件など
ターポリン一般 厚み約0.32mm 〈耐用年数〉 屋内外:1年以上 ※防炎加工済	0.42-510g/㎡ 1枚 17,200円	0.42-510g/㎡ 1枚 28,500円	0.42-510g/㎡ 1枚 46,000円	0.42-510g/㎡ 1枚 96,700円	【仕 様】 片面印刷 防炎加工 四方角丸カット 折畳み梱包込 ※配送時の段ボール箱は厚手仕様。
	+送料	4箱迄 5,000円	4箱迄 5,000円	4箱迄 5,000円	
	〈素材概説〉 ポリエステルやナイロン布など織物の両面に塩ビ樹脂を塗布したもの。懸垂幕や横断幕などにも活用されている。耐久性が高く、日焼け・防炎・防水・色褪せにも強く汎用性が高い。PVC（ポリ塩化ビニール樹脂）加工もターポリンと呼ばれる。				
幅広トロマット 厚み約0.32mm 〈耐用年数〉 屋内:1年以上 屋外:半年程度 ※防炎加工可	0.31-260g/㎡ 製作費（一式） 1枚 24,700円	0.31-260g/㎡ 製作費（一式） 1枚 45,200円	0.31-260g/㎡ 製作費（一式） 1枚 84,800円	0.31-260g/㎡ 製作費（一式） 1枚 203,500円	【仕 様】 片面印刷 防炎加工 ほつれ防止素材 折畳み梱包込
	〈素材概説〉 ポリエステル100%平織の布素材で、折り畳みしわがつきにくい。持ち運び用途に最適。複雑なデザインをはっきりと印刷する場合に最適。防炎加工可。裏抜け無し。				

地図教育へのご寄付のお願い(目標 150 万円)

(期間: 令和3年7月から令和3年11月末日)

一口1万円: ご芳名を次回記念誌等に載せ、記念誌をお送りします。

郵便振替: 口座記号 00380-6 口座番号 9573

加入者名 長久保赤水顕彰会

振込先: 株式会社ゆうちょ銀行 記号 10630 番号 18398581

長久保赤水顕彰会 代表者 佐川春久

(電信扱い不可: 電信扱いにしますと住所・電話番号等の記録が残らずご連絡が不可能になります)

用途

5倍の床敷赤水図の制作費や講演会費等に利用し、目標額を超えたご寄付については赤水関連図書整備に活用させて頂き、ご報告書を送付いたします。

長久保赤水顕彰会事務局 <http://nagakubosekisui.org>



◆「赤水図」拡大タペストリーに関するお問合せ先◆

〒318-0103 高萩市大能341 会長 佐川春久 携帯 090-1846-6849

E-mail: haruhisagawa@yahoo.co.jp

◆地図教育モデル事業に関するお問合せ先◆

〒318-0003 高萩市下手綱1995-2 理事 三浦邦明 携帯 080-3421-0196

E-mail: miura_kuniaki@pf7.so-net.ne.jp



赤水図で中学の授業

高萩市教委、顕彰会、地図学会

高萩市教育委員会と長久保赤水顕彰会、日本地図学会の3者は本年度、同市出身で江戸時代の地理学者、長久保赤水（1717～1801年）が作成した日本地図を教材にした中学校の授業の開発に、連携して取り組む。9月にも市内の中学校で出張授業を実施する予定だ。



大学教授解説 9月にも実施へ

赤水の「改正日本輿地路程全図」（赤水図）は本年度、初めて中学校の地図帳に掲載された。ただ、同顕彰会の佐川春久会長は「中学校の先生も（日本全国を測量した）伊能忠敬についてしか学んでおらず、赤水を知らないため、戸惑いがあるのでは」と話す。

現在検討している授業は、同学会常任委員長で日大経済学部の下田勝彦教授が担当。5倍の大きさに拡大した赤水図を生徒たちと囲みながら、赤水図に関する解説や現代の地図との比較などを通し、生徒の地図を「読む」力の向上を図る。本年度は3校での実施を検討しており、授業をブラッシュアップする。同顕彰会と同学会は、将来的に全国の教育委員会や学校に情

定期総会の中止を受け、会員らに総会資料などを発送する長久保赤水顕彰会の理事＝高萩市

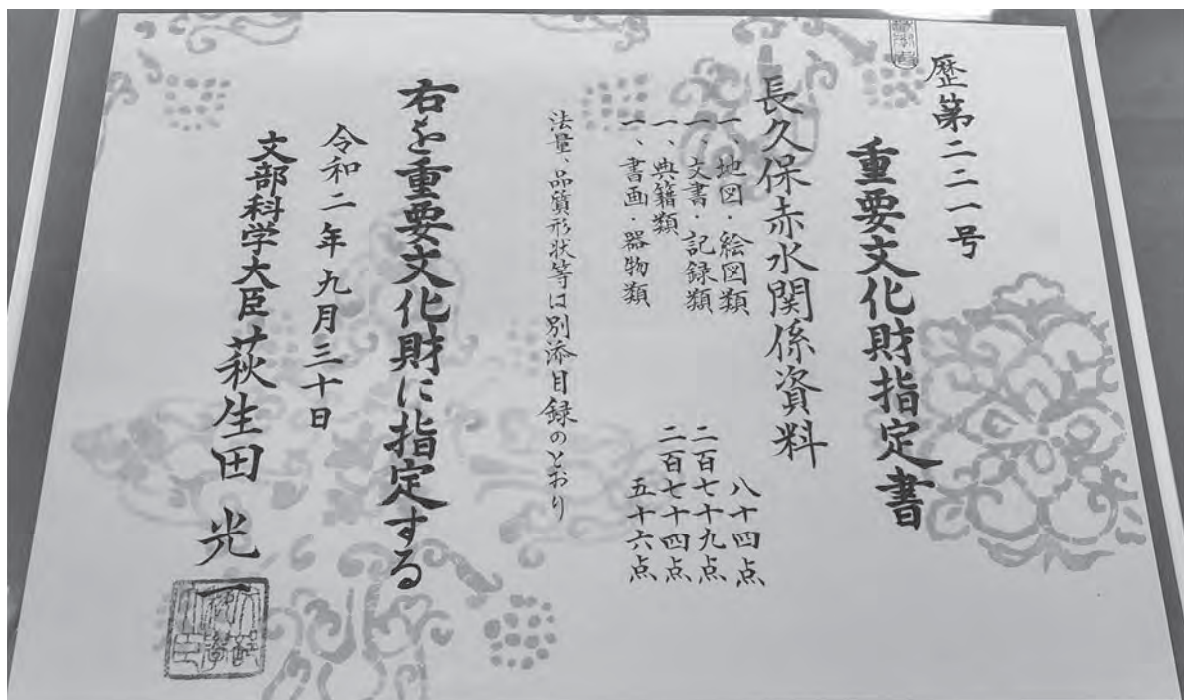
報発信し、赤水図を使った授業内容の構築に役立ててもらいたい考えだ。

現在、NHK大河ドラマ主人公の渋沢栄一など幕末の人物に注目が集まっているが、佐川会長は「彼らの足跡をたどるには、今の地図では地名が変わっているため不十分」と指摘。江戸時代の庶民に重宝された赤水図で「歴史と地理を融合した教育もできるのでは」と期待する。

学校教育課は「大学教授が授業を行うことで、生徒は郷土の偉人に対する興味が増え、功績について専門的に学べると考えている」としている。

顕彰会は本年度、授業開発のほか、漫画などの書籍の発行、赤水の足跡をたどるウォーキング会といった事業を計画。計画案の承認を諮る定期総会は新型コロナウイルス感染防止で中止したため、同会理事11人が15日、総会資料を会員（670人）らに発送する作業を、同市下手綱の市立松岡中学校で行った。

（小原瑛平）





長久保赤水の生涯と功績を描いたプロ
モーション映像の上映会＝高萩市高萩

高萩市は、同市出身で江戸時代の地理学者、長久保赤水（1717～1801年）の生涯と功績を伝えるプロモーション映像を製作し、22日、同市高萩の市文化会館で上映会を開いた。市民や関係者約230人が、学問や地図作成に対する赤水の情熱に思いをはせながら鑑賞した。

映像は和泉流狂言師の和泉元彌さんが「案内人」と地図「改正日本輿地路程全図」（赤水図）などを見るシーンから始まり、赤水の半生を描く再現ムービーに移る。成人してからの赤水も和泉さんが演じた。

本真に縁がある作品を数多く手掛けてきた松村克弥さんが監督を務めた。約50分の映像で、赤水が地図の完成にかけた努力や情熱、農民出身ながら水戸藩6代藩主、徳川治保の侍講に登用される軌跡を描いた。

市は7月以降、動画投稿サイト「YouTube（ユーチューブ）」での公開やDVD化を通じ、赤水に対する認知の広がりや市のPRにつなげたい考え。

上映会を前に大部勝規市長は「赤水の功績と生きざまを通して多くの方に本市に興味を持っていただきたい」とあいさつ。この日は和泉さんと松村監督たちがトークショーを行う予定だったが、新型コロナウイルス

赤水の生涯、PR映像

和泉元彌さん「案内人」高萩市が製作、上映会

ス流行に伴う東京都の緊急事態宣言延長を受け、欠席した。

代わりに和泉さんが「赤水が生涯をかけて人々のために取り組んだ結果が時を超えて人の心を動かしている。映像が、今と未来を生きる若人と赤水が出会ったきっかけになることを願っている」とビデオメッセージを寄せた。

鑑賞した同市高浜町の石井博人さん（71）は「赤水について具体的に知ることができた。これを機にもっと調べてみたい」と話していた。（小原瑛平）



和泉元彌さん自撮り
（高萩市文化会館楽屋で赤水図と共に）



和泉元彌さん自撮り
（高萩駅前長久保赤水像と共に）

令和2年12月5日、長久保赤水役を演じた和泉元彌さん。
自撮り写真をツイッターで情報発信していた。

第28回 茨城新聞広告賞

主催／株式会社 茨城新聞社
茨城新聞広告主懇話会

この賞は、広告活動発展のために多大な寄与をしたと認められる県内の企業・団体を顕彰し、たたえる目的で、茨城新聞創刊100周年を機に制定いたしました。今回の対象作品は2020年4月から

2021年3月までの1年間に、茨城新聞に掲載された新聞広告です。イメージ・デザイン・コピー・メッセージ性などを基準に、5人の審査委員により厳正なる最終審査を行い選考しました。



【優秀広告賞】 長久保赤水顕彰会 2020年4月21日掲載

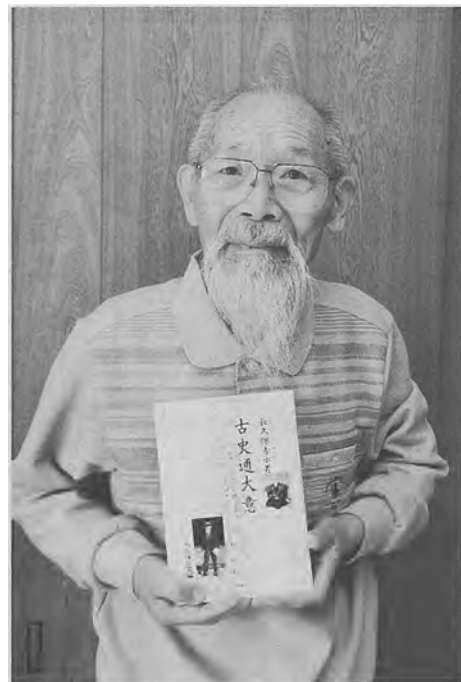
最優秀に県北6市町・県

茨城新聞広告賞 受賞11作品決まる

2020年4月から21年3月に茨城新聞で掲載した広告の企画や表現力を評価する「第28回茨城新聞広告賞」の受賞11作品が決まった。最優秀広告賞には県北6市町の観光の魅力を見開きで紹介した「県北6市町（日立市、常陸太田市、高萩市、北茨城市、常陸大宮市、大子町）・茨城県」が選ばれた。

審査委員長を務めた佐藤正和氏は「奥久慈の山や川、美しい海岸線など、県民が知らない魅力が身近にあるというのに気付いていない。一目見て分かる県北6市町の姿をビジュアルで色彩豊かに訴求した」と評価した。

他の受賞団体は次の通り。▽優秀広告賞 フットボールクラブ水戸ホーリーホック、長久保赤水顕彰会、米川商事、沼尻産業▽優秀企画賞 筑西市、日本たばこ産業（JT）、境町▽優秀地域賞 常陸大宮市、大子町、鹿島アントラーズFC



長久保赤水が記した「古史通大意」の解説書を出版した長久保源蔵さん＝高萩市赤浜

古史通は、白石が古事記や日本書紀、旧事紀などを基に神話の時代から神武天皇までの日本について記し、神話として伝えられてきたことを科学的・合理的に解釈しようと試みた。神々が住む「高天原」は常陸国多珂（多賀）郡に当たり、現在の本県にあったとする記述もある。

高萩の長久保さん

高萩市出身で江戸時代の学者、長久保赤水（1717～1801年）について長年研究を重ねる長久保源蔵さん（90）＝同市赤浜＝が、儒学者・新井白石（1657～1725年）の著書「古史通」を赤水が分かりやすく記した「古史通大意」の解説書を自費出版した。

「古史通大意」解説書を自費出版

源蔵さんは、赤水の関係資料が国の重要文化財に指定されたことを記念するともに、自身が90歳を迎えた祝いを含め出版。解説書が「赤水理解の一助になれば」と話している。解説書はA5判60頁。千円（税込）。問い合わせは長久保赤水顕彰会の佐川春久会長 ☎090（1846）6849。

（小原瑛平）

赤水著書に説明や注釈

古史通の発刊から六十数年後、赤水が自分なりの研究解釈や感想を加え、分かりやすくまとめたのが「大意」だ。赤水は冒頭で白石を称賛するものの、「其の言葉シケン（多すぎ）」「要（要点）を見がたし（分かりづらい）」と批判もし、「大意」を記す動機を書き留めている。源蔵さんは「赤水は農民出身なので、実用的で分かりやすいようにという気持ちが根底にあったのだろう」と分析する。

解説書では「大意」の内容に用語説明や注釈を付け加えたほか、赤水直筆の原文のコピーを載せている。赤水は「大意」の後半で古書を通じて信用をうける人を見ており「誤った自分の頭で考えるということと言いたかった」（源蔵さん）と考えられるという。

源蔵さんは、赤水の関係資料が国の重要文化財に指定されたことを記念するともに、自身が90歳を迎えた祝いを含め出版。解説書が「赤水理解の一助になれば」と話している。

解説書はA5判60頁。千円（税込）。問い合わせは長久保赤水顕彰会の佐川春久会長 ☎090（1846）6849。

「赤水図」教科書に初掲載

寄稿

佐川 春久

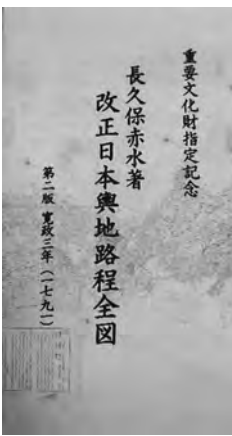
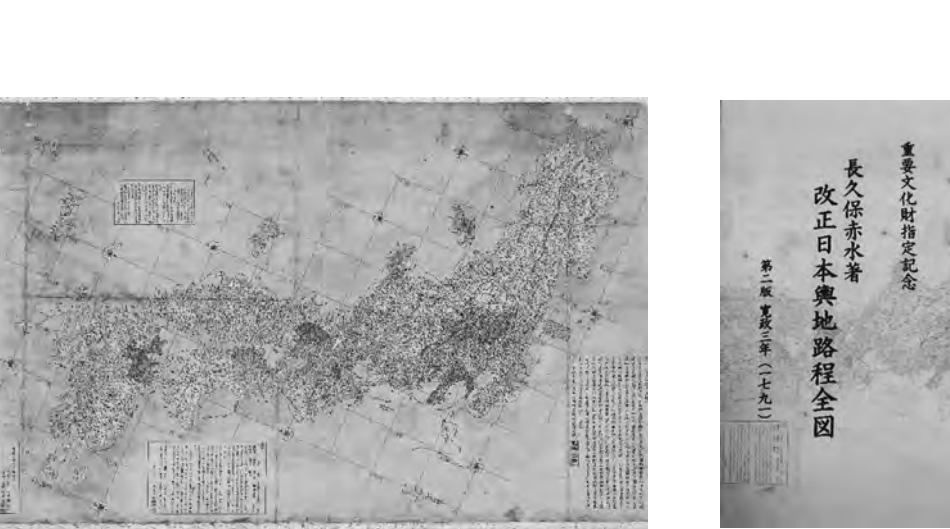
現在の高萩市に生まれ、江戸時代に日本地図を製作した長久保赤水（1717～1801年）の業績が認められ、赤水の「赤水図」（改正日本輿地路程全図）が本年度、初めて中学校の地図帳に掲載された。

早速、新学期を迎えた高萩市立松岡中学校では、4月15日に社会科の授業で初めて「赤水図」について学んだ。生徒たちは「地元の長久保赤水が地図を作ったことは、すごい！ 誇りに

偉大な業績認知を

折り畳み地図の先駆けでもあり、その実用性から伊能忠敬や吉田松陰が旅に携行し、この携帯性も広く庶民に愛用されたゆえンである。今回の教科書への掲載を機に大勢の国民の皆さま方にも、ぜひ「赤水図」と長久保赤水の偉大な業績を知ってほしいと思

う。 「行基図」や「石川流宣図」「赤水図」などがある。つまり「伊能図」がある。つまり「伊能図」は一晚でできたわけではなく、それぞれ先達の業績の上に成り立っていることを知っていた。 「赤水図」は現代に見られるコンパクトな作の変遷の上で歴史地理学



高萩市では、国の重要文化財の指定を受けた「改正日本輿地路程全図」（赤水図）

第2版の原寸大レプリカを3000部作成して、1000円で好評販売中！！



長久保赤水著『古史通大意』長久保片雲（源蔵）編

新井白石の神代史論『古史通』を長久保赤水がわかりやすく著した解説書です。

赤水資料修復に支援を

国の重要文化財に指定された高萩市所有の「長久保赤水関係資料」のうち、日本で初めて経緯線を記した日本地図「改正日本輿地路程全図」（赤水図）など損傷が見られる33点について、市は修復とデジタルデータ化を進める。費用の約半分は、ふるさと納税制度を活用したクラウドファンディングによる寄付で賄う計画で、310万円を目標に6月末まで募っている。



はがれた部分があり、修復が行われる長久保赤水関係資料（高萩市教育委員会提供）

高萩市出身で江戸時代の地理学者の長久保赤水（1717～1801年）が残した資料693点は昨年、国重文に指定された。

市教育委員会によると、このうち33点は破れや汚れ、彩色のはがれ、虫食いなどが散見されるという。

「国民の財産」となった貴重な資料を後世に継承しようと、市は2021～28年度の8年間で修復とデジタルデータ化に取り組み、広くデータを公開することで赤水に関する研究の推進にもつなげる。

デジタル公開も 高萩市、ネット寄付募る

今年度は、赤水図や、その原図の「改製日本分里図」などの修復を開始し、国宝や重文の保存修理の実績がある都内の専門業者に委託する。

修復された資料は、精細なデジタル撮影を行ってデータ化する。来年度以降は、資料の状態や活用頻度などを踏まえて優先順位をつけ、修復とデジタル化の作業を続ける。

費用は、今年度一般会計当初予算に計上した619万円の約半分を寄付で賄う計画という。寄付の申し込みは、市ホームページに掲載されているふるさと納税仲介サイト「ふるさとチョイス」で受け付けている。寄付5000円以上で、赤水図の原寸大レプリカの返礼品も用意した。問い合わせは、市教委生涯学習課（0293・23・1132）へ。

「赤水図」教科書に初掲載

寄稿

佐川 春久

昨年の12月から撮影を開始していた、狂言師の和泉元彌さんがナビゲーターと主演の長久保赤水役を演じたスーパームービー「その先を往け！ 日本地図の先駆者 長久保赤水」が5月に完成した。高萩市では、5000枚のDVDを製作して、学校教育の授業や観光などにも活用していく。また、インターネットでも、このスーパームービーを配信して長久保赤水の業績を全国に発信していく予定で

功績、全国展開へ

「長久保赤水って誰？」というのが現実である。

このため、長久保赤水顕彰会では、これまでに「赤水図」原寸大レプリカを2回にわたって合計7000部を発行してきたが、今後は2倍・3倍・5倍拡大タペストリーを学校教育の教材として活用できるよ

ある。

ようやく念願の中学校の教科書に長久保赤水の「赤水図」が掲載された。しかし、学校の現場で教える全国の先生方が教わってきたのは伊能忠敬のみである。

う、日本全国への普及を図っていきたくと考えている。

「長久保赤水の郷土高萩を赤水図のまちに！」全国モデル推進事業として、日本地図学会の先生方のご協力の下、長久保赤水地図部会を立ち上げていただき、5倍タペストリーと教科書

地図帳、タブレットなどを活用した出張授業に、インターネット配信など併用し実現していきたい。「赤水図」を教材とする「全国に先駆けた小・中・高校の地図・地理一貫教育」の実現を高萩の地で目指していきたい。

ほとんどの人が全く知らなかった長久保赤水の偉大な業績を全国展開できた時には、必ず「赤水ブーム」が来る。日本だけでなく、鎖国の時代に海を渡り、世界中の多くの有名コレクションに「赤水図」が大切に保管されている歴史的な事実もある。

長久保赤水顕彰会では、今後とも「学ぼう赤水を教科書に載せて 広げよう世界へ!」、「ひよっこ」の次は大河ドラマ「長久保赤水伝」を実現しよう！を合言葉に、官民一体となつてさらなる赤水の功績の普及に努めていきたい。多くの国民の皆さま方のご支援とご協力をよろしくお願ひしたい。

（長久保赤水顕彰会会長）



今まで、長久保赤水顕彰会で発行してきました絵本「りゅうのひかり」と「長久保赤水と山本北山〜漢詩論をめぐる〜」は、好評発売中です。

国の重要文化財指定を記念して 各図書館で赤水展示コーナー続々

6月12日から6月30日まで
「長久保赤水と地図」
図書展示コーナーを設置。
(水戸市立中央図書館)



R3. 5 月 12 日 産経新聞



教科書に掲載された赤水図を学ぶ生徒たち＝松岡中学校

「郷土の偉人」「掲載うれしい」

授業を受けた菊地然さん(12)は「よくあんな地図が書けたと思う。高萩の人が教科書に載ったのはうれしい」と話していた。(小松重則)

地元・高萩市の松岡中では15日、1年生の社会科の授業で赤水図を学んだ。渡辺浩実教諭が、地球上の位置は経線と緯線で現すことができる、と説明した後、赤水図を示して解説。「郷土の偉人が日本の歴史の中で価値を見いだされていた。みなさんも関心をもってください」と語りかけた。

授業を受けた菊地然さん(12)は「よくあんな地図が書けたと思う。高萩の人が教科書に載ったのはうれしい」と話していた。(小松重則)

高萩の中学 授業で解説

赤水の地図、中学教科書に

江戸時代中期の儒学者・地理学者で、現在の高萩市赤浜出身の長久保赤水(1717～1801)が作製した日本地図が今年度、初めて中学校の教科書に掲載された。

現在の高萩市出身で、江戸時代の地理学者・長久保赤水(1717～1801年)が作った精密な日本地図「赤水図」が本年度、中学校の社会科の授業で使う地図帳(帝国書院)に掲載された。市教育委員会



によると、社会科の検定教科書に赤水図が取り上げられるのは初めて。市内の中学校では早速、地図帳を使った授業が始まり、生徒らは郷土の偉人の功績に思いをはせていた。(保坂千裕)

高萩出身の地理学者 社会科地図帳に掲載

市内の松岡中で十五日、地図をテーマにした一年生の社会科の授業があり、赤水図が登場した。

まず、担当の渡辺浩実教諭(左)が黒板に地球を图示し、緯度と経度で世界の位置を正確に表すことができること、本初子



「赤水図」を社会科の授業で学ぶ生徒ら＝高萩市で

午線や赤道について説明した。次第に話題は世界から日本に絞られ、「では、日本の地図はいつ作られたと思うか」と生徒たちに問いかけると、数人から「三百年前」と返答があった。そこで渡辺教諭は、地図帳を開くように指示。「日本の地図

で有名なのは誰？」と問うと、「伊能忠敬」と生徒が答えた。日本地図の変遷を説明したページには伊能忠敬の地図の隣に「赤水図」が並ぶ。渡辺教諭は「赤水は旅人から情報を得ながら地図を作ったと伝えられている。歴史的に価値がある」と説いた。

郷土に思いはせ授業



長久保赤水の「赤水図」(左下)が、伊能忠敬の「伊能図」(右)と並び紹介されている帝国書院の地図帳

顕彰会は、重文指定を記念したファイルを作成し、この日、児童生徒の学習用として市に二千人分を寄付した。佐川春久会長(左)は「赤水ブームは来る。大河ドラマを目指し、世界中にある赤水の資料を集めていきたい」とさらなる意欲をみせた。

市では地域学習の一環で、小学校から赤水について学ぶ機会が幾度かあるが、社会科は初めて。授業を受けた山形樹生さん(12)は「『赤水図』の北海道は少し違うかなと思うが、地元の人が地図を作ったことはすごいと思うし、うれしい」と話した。帝国書院は「赤水図」を掲載した経緯について「日本の古地図史で重要として扱った。赤水図という、かなり正確な地図があったということを知ってもらふ意義もある」と説明する。地図の変遷は、中学社会科で教える内容の範囲から逸脱するものの、あえて取り扱ったという。赤水が、検定教科書に載るまでに知名度が上がった背景には、地元の団体の努力がある。一九九二年に赤水の子孫や地元住民で設立した「長久保赤水顕彰会」はこれまで、赤水の書簡の現代語訳二冊や、生涯を描いた漫画本を発行。当時百人だった会員数は、昨年の国の重要文化財(重文)指定もあり、今では全国で七百人弱にまで増えた。

市では地域学習の一環で、小学校から赤水について学ぶ機会が幾度かあるが、社会科は初めて。授業を受けた山形樹生さん(12)は「『赤水図』の北海道は少し違うかなと思うが、地元の人が地図を作ったことはすごいと思うし、うれしい」と話した。帝国書院は「赤水図」を掲載した経緯について「日本の古地図史で重要として扱った。赤水図という、かなり正確な地図があったということを知ってもらふ意義もある」と説明する。地図の変遷は、中学社会科で教える内容の範囲から逸脱するものの、あえて取り扱ったという。赤水が、検定教科書に載るまでに知名度が上がった背景には、地元の団体の努力がある。一九九二年に赤水の子孫や地元住民で設立した「長久保赤水顕彰会」はこれまで、赤水の書簡の現代語訳二冊や、生涯を描いた漫画本を発行。当時百人だった会員数は、昨年の国の重要文化財(重文)指定もあり、今では全国で七百人弱にまで増えた。



参考書「学研ニューコース中学歴史」には、長久保赤水の日本地図と世界地図が掲載されました。



今年、初めて帝国書院の教科書「中学校社会科地図」に赤水図が掲載されました。

内閣官房のポスターとチラシに長久保赤水が描いた「蝦夷松前図」（北海道大学所蔵）が掲載。

蝦夷ノ千島ト云ハ大洋ヘカメテ
何程ノ遠敷有ト云フヲ不知
松前ヘ知レル島三十七何レ
モ大島也

領土・主権展示館 企画展
知られざる
北方四島
—歴史・文化・自然—
3/16火
5/9日
入場無料

択捉島、国後島、色丹島および歯舞群島からなる北方四島は、一度も他国の領土となったことがない日本固有の領土です。今回の企画展では、「知られざる北方四島—歴史・文化・自然—」として、「歯舞群島は一時期東京府に属していた」などあまり知られていないエピソードを交えながら、先史時代を含めた北方四島の歴史や文化、自然を紹介し、北方四島が我が国固有の領土であることを示していきます。

【会場】領土・主権展示館 【開館時間】10:00—18:00
最寄り駅：東京メトロ 銀座線「虎ノ門駅」3番出口より徒歩1分、東京メトロ 丸ノ内線・日比谷線・千代田線「霞ヶ関駅」A13出口より徒歩5分、東京メトロ 日比谷線「虎ノ門ヒルズ駅」A2出口より徒歩5分

【休館日】月曜日（月曜日が祝休日となる場合はその次の平日休館）

HP <https://www.cas.go.jp/jp/ryodo/tenjikan>
@ryodoshuken Twitterを覗きました。
*詳細はホームページをご覧ください。

【所在地】東京都千代田区霞が関3-8-1 虎の門三井ビルディング1階 【電話番号】03-6257-3715

Copyright JAXA/USGS/NASA 領土・主権展示館 左上:「蝦夷松前図」(北海道大学付属博物館所蔵) 右上:「ラッコの群れ」(雪山権大氏撮影) 中央:「エトピリカ」(東京市提供) 左下:「子供をつれたシャチの群れ」(菅森尊祐氏提供)

赤水重文資料

高萩市 費用一部、CFで募る

修理、デジタル化へ

高萩市は本年度、同市出身の地理学者、長久保赤水（1717～1801年）の関係資料で国重要文化財（重文）に指定された693点のうち、損傷が激しいものの修理に着手する。修復と並行してデジタルデータ化を進め、研究に資する考えだ。本年度取り組む5点の事業費の一部は、インターネットを使ってふるさと納税の仕組みを利用した「ガバメントクラウドファンディング（GCF）」で募っている。



彩色の一部が剝離した長久保赤水関係資料（高萩市提供）

民に広く利用される日本地図を作成した。1779年に刊行した赤水図は、国防上の機密扱いだった伊能忠敬の地図と違って庶民向けに出回り、海賊版も出版されるほどの人気だった。子孫らが持つ関係資料693点が昨年9月、国から重文に指定された。（小原瑛平）

市によると、損傷が激しいのは693点のうち33点で、2021～28年度までの8年をかけて順次修理する。いずれも完成から250～2000年が経過し、汚れや破れ、彩色の剝離、虫食いがある。重文指定に向けた作業の中で、文化庁から修理の必要性について指摘を受けていたという。本年度修理する5点は、赤水の代表作「改正日本輿地路程全図」（赤水図）や赤水図の原図「改製日本分

里図」など。特殊な技術を持つ国宝を修理した実績がある都内の専門業者に委託する。赤水関係資料は、地理学者などからデジタル化の要望が高まっている。修理が完了した資料は高精細に撮影し、データを活用した研究を推進する方針。22年度以降は、資料の状態や活用頻度などを踏まえて優先順位を付け、修理とデジタル化に着手していく。市は本年度分の事業費6

R3.1月31日 茨城新聞

佐賀未来創造基金に大賞

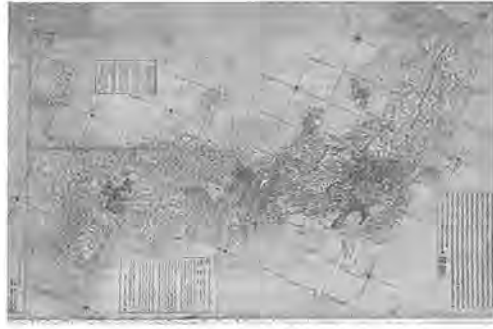
地域再生大賞 赤水顕彰会は優秀賞

地域活性化に成果を上げた団体を、地方新聞46紙と共同通信が表彰する「第11回地域再生大賞—コロナ禍を越えて—」の各賞50団体が30日、決まった。大賞（副賞100万円）に、市民や企業から募った資金を子育てやまちづくりなど広い分野の地域活動に配分する「佐賀未来創造基金」（佐賀市）が輝いた。（21面に特集）

行政や企業と協働、各市民活動に寄り添う支援で地域課題の解決に貢献。新型コロナウイルス対応に当たる医療従事者らへの迅速な助成も評価された。準大賞（各15万円）は、インターン受け入れにより金属加工産地の中小企業と全国の大学生をつなぐ「つばめいと」（新潟県燕市）、赤字経営から脱して地域に開かれた施設に生まれ変わった「志摩市民病院」（三重県志摩市）の2団体。店舗の新規開業や移住を

長久保赤水顕彰会の佐川春久会長は優秀賞受賞に「活動の励みになり、ありがたい。赤水のことがじわりじわりと知られ、プラスの方にきている。地域を良くするまちづくりにつながっていく」と話した。

支援する「東彼杵ひとこともの公社」（長崎県東彼杵町）に、地域の未来賞兼九州・沖縄ブロック賞（10万円）が贈られる。ブロック賞（各10万円）は次の5団体。BOOT（ブット）（福島県西会津町）▽小さな村総合研究所（山梨県丹波山村）▽RENEW実行委員会（福井県鯖江市）▽三方よし研究会（滋賀県東近江市）▽おかやま親子応援プロジェクト（岡山市）優秀賞は、「長久保赤水顕彰会」（高萩市）など41団体。新型コロナウイルス感染拡大を踏まえ、東京で各団体を表彰する例年の方式は見送られる。



「改正日本輿地路程全図」(高萩市歴史民俗資料館蔵)

長久保赤水は、多賀郡赤浜村〔高萩市〕で代々庄屋〔村長〕を務める旧家に生まれました。幼くして母親と父親を続けて亡くしましたが、継母が深い愛情を注いで赤水を育ててくれました。幼い頃から勉強が好きで、近所の海岸で砂に文字を

いばらきの先人たちは、郷土の発展に大きく貢献したり、全国的に活躍した江戸時代以降の本県ゆかりの人物について、その功績や生き方を分かりやすく紹介します。今回は、令和三年九月三十日付で関連資料六百九十三点が国の重要文化財に指定された高萩市出身の地理学者 長久保赤水です。

いばらきの先人たち

ながくぼせきすい 長久保赤水

高萩市

初の本格的な日本地図を制作した学者

熱心に学問に取り組んだ赤水は、学問を通じて様々な人たちの交流を深めていきました。なかでも松岡地方〔日立市・高萩市・北茨城市周辺〕において、

書いて練習していたほどだったといえます。親戚や村の人から「農業をするのに学問はいらない。農民は農業だけやっていればいいんだ。」という反対の声もありましたが、継母は「人は、本来の仕事のほかに、楽しんで習うものがあると豊かな人生が過すよ。」と言って、

いつも赤水をかばったといわれています。赤水が学問を熱心に続け、農業と両立させていたのは、やさしい継母の教えが身についていたからなのでしょう。

赤水は、はじめ、下手綱村〔高萩市〕の医者であり漢学者でもあった鈴木玄淳の私塾で学び、後に水戸藩の学者であった名越南漢に入門し、儒学・歴史・文学・漢詩などを勉強しました。

師の鈴木玄淳を中心にむすびついた七人の友、いわゆる「松岡七友」との交流は赤水にとってかけがえのないものでした。赤水は、見聞を広めるため、農作業が楽になる時期を利用して旅にも出かけました。

赤水は、旅で見聞したこと、調べたことを記録に残しており、奥州・北陸地方の旅をまとめた「東奥紀行」や、安南国〔ベトナム〕から帰国した磯原村の漂流民を、磯原村庄屋代理として、長崎に迎えにいったときのことをまとめた『長崎行役日記』など、後に著作として刊行されたものもありました。特にこの長崎訪問は、赤水にとって大いに見聞を広げ、知識を得ることができた旅であったようです。

明和五年（一七六八）、これまでの学問の功を認められ、水戸藩の郷士〔農村に住みながら、武士と同じ身分を与えられた者〕に取り立てられました。その後、もそれまで以上に学問に励み、農政や地理学などに関する多くの本を著しています。中でも、安永八年に完成し、翌年大坂（大阪）で出版された『改正日本輿地

路程全図』は、日本で初めて経緯線の入った刊行日本図として有名です。全国各地の地理に関する書物や地図を集めたり、時には街道を行き来する旅人から話を聞いたりして情報を集め、二十年以上かけて完成させました。「自分が学んだ知識を世の人のために役立てたい。」という赤水の思いが込められたこの地図は、その願いの通り長く人々に愛用され、明治四年（一八七二）にいたるまで約百年にもわたって出版され続けたのです。

赤水は、安永六年（一七七七）、六十一歳の時、水戸藩主・徳川治保の侍講〔直接勉強を教える役目〕に選ばれ、小石川の江戸藩邸に住むようになりました。赤水は農民の苦しい生活の実情を明らかにした『農民疾苦』を著すなど、農政学者の立場から、農民のための政治のあり方を藩主治保に説き続けました。農業と学問を両立させてきた赤水だからこそ、治保からもたいへん信頼され、その考えは大いに藩政に取り入れられたのです。地理学者、そして農政学者として多くの業績を残した赤水は、享和元年（一八〇一）、郷里の赤浜村で八十五歳の生涯を閉じました。

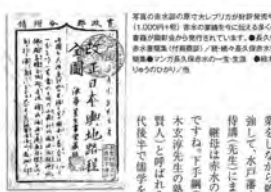
【略歴】享保2年(1717)～享和元年(1801)。多賀郡赤浜村〔高萩市〕生まれ。本名は玄珠。農業のかたわら学問に精進し、享保15年(1730)頃、下手綱村〔高萩市〕の郷医鈴木玄淳に学び、さらに寛保元年(1741)、水戸藩の学者、名越南漢に師事する。明和5年(1768)に学問の功により、水戸藩の郷士格に取り立てられる。日本で初めて経緯線の入った刊行日本図『改正日本輿地路程全図』を作成(安永8年完成。翌年大坂で出版。)。安永6年(1777)には水戸藩第6代藩主徳川治保の侍講となり、江戸常勤の身となる。『農民疾苦』を著して治保に農民の実情を達言するなど、農民の立場から藩政のあり方を考えることに努める。

※「いばらき文化情報ネット いばらきの先人たち」より一部転載



(高萩市歴史民俗資料館蔵)

12 ROSE 増刊号



高萩市歴史民俗資料館蔵



目を見張る赤水図の中身

「長くくぼせきすい」という名前が、長久保赤水の生涯を物語っています。長くは長久保赤水の生涯、くぼせきすいは長久保赤水の生涯を物語っています。長くは長久保赤水の生涯、くぼせきすいは長久保赤水の生涯を物語っています。

J A常陸発行「だいすき常陸」34号
(令和3年2月10日)に
長久保赤水が掲載。

国の重要文化財指定を記念して
各図書館で赤水展示コーナー続々



2020年11月24日・茨城新聞
「北茨城市立図書館」の設置コーナーに
ついて掲載されました。



第11回地域再生大賞特集

長久保赤水顕彰会が開いた、史跡などを巡るガイドツアー。2019年6月、高萩市高萩



高萩市出身で江戸時代の学者、長久保赤水（1717～1801年）は、日本で初めて経緯線のある全国地図を完成させた。長久保赤水顕彰会佐川春久会長は「赤水の功績を広く伝えるため、幅広い活動を展開している。赤水は、さまざまな地理情報を編集し、庶民に広く利用された日本地図『改正日本輿地路程全図』（赤水図）を作成した。子孫らが持つ関係資料693点が昨年9月、国の重要文化財に指定さ

優秀賞 長久保赤水顕彰会（高萩市）
重文指定の推進力に

高萩市出身で江戸時代の学者、長久保赤水（1717～1801年）は、同会は1992年に設立。近年では史跡などの現地ガイドや学校での出前授業、赤水図のレプリカ作成、書籍や漫画の発行といった活動を展開し、重文指定の推進力となった。会員は現在685人と、この1年間で200人増えた。赤水は日本地図を作っただけでなく儒学や天文・地理、農政学など幅広い分野に造詣が深く、当時の学者仲間との交友関係も広がった。重文指定を機に各分野の関係者や



赤水の業績、動画で紹介

資料や専門家の解説
オンライン
顕彰会と地図学会

地理空間情報に関わる最先端技術を紹介するオンラインイベント「G空間エクスポ」内で、高萩市出身の地理学者、長久保赤水（1717～1801年）の業績や地図の特徴を解説する動画が公開されている。長久保赤水顕彰会と日本地図学会が連携して撮影・編集。赤水について広く知ってもらうツールの一つとして活用していく考えだ。

G空間エクスポは、地図や衛星測位などから得られる位置と、位置にひもつけられた「G空間（地理空間）情報」に関するイベント。産学官による運営協議会が主催。2020年、日本輿地路程全図（赤水図）を作成するなどした赤水



動画の撮影を行う長久保赤水顕彰会と日本地図学会の関係者ら＝高萩市高萩

の業績を分かりやすく伝えるとともに、地理教育への普及を推進しようと両会が協力して作成。イベントのホームページで2本公開している。一つは、同市高萩の市歴史民俗資料館に展示されている赤水の関連資料のほか、赤水が地図上に書き残した不思議な現象の記述を題材にした絵本「りゅうのひかり」の紹介などの内容。もう一つは、日本地図学会常任委員長で日本経済学部、地理学部長で歴史地理学部長で茨城大教育学部的小野寺淳教授が、地図について専門家の目線で詳しく解説する。

小野寺教授は、1779年に作成された赤水図の初版と91年の二版を比較し、「二版は沿岸航路や海流が描かれている。地名、地理情報も豊富になっている」と説明する。一部教授は同館に展示されている拡大地図に乗りながら、赤水図には山脈や河川の本流・支流、最近噴火した火山の噴煙マークが描かれているなどの特徴を解説。地図からマークを探することも大変意味があると思うと強調した。動画投稿サイト「ユーチューブ」でも公開している。今後、地図学会の会合などで活用される予定。（小原瑛平）

高萩市
長久保赤水の日本地図印刷
マスキケース作製

高萩市は、同市出身で江戸時代の地理学者、長久保赤水（1717～1801年）が完成させた日本地図を印刷した「マスキケース」を作製した。赤水の関係資料が昨年、国の重要文化財に指定されたことを記念したグッズとして、今後のイベントなどでの配布を想定している。



作製したマスキケースはプラスチック製で、折り畳んだ際の大きさは横20・5センチ、縦11・5センチ。抗菌加工を施し、飲食時に外したマスキケースを清潔に保管できる。表に「長久保赤水関係資料重要文化財指定記念」との文言を記し、赤水が1791年に完成させた日本地図「改正日本輿地路程全図」（赤水図）の2版をプリントした。内側には赤水の紹介や自画像、他の版の地図を掲載した。ケースは非売品。直近では成人式で新人に配布することを考えていたが、同市の成人式は中止となった。今後、イベント中止な

どが相次ぎ、いつどのよう

に活用するかは現時点で未定だが、市生涯学習課の担当者は「手にした人に赤水の功績を少しでも知ってもらえれば」と話している。長久保赤水は江戸中期の地理学者、漢学者。さまざまな地理情報を編集して庶民に広く利用される日本地図を作成した。子孫らが持つ関係資料693点が昨年9月、重文に指定された。（小原瑛平）



長久保赤水像が東京へ行く

赤水の功績学び 「十石堀」も見学

県北で市民グループ

水戸市の国田歴史学習会（小田倉康家会長）は11月29日、高萩市と北茨城市の歴史探訪を行った。国田地区の住民をはじめ市民ら約50人が参加、江戸時代に日本で初めて経緯線のある全国地図を完成させた長久保赤水の功績を学んだり、世界かんがい施設遺産に登録された「十石堀」を見学したりした。



一行はレトロなボンネットバスなど3台に分乗。高萩市歴史民俗資料館では、長久保赤水顕彰会の佐川春久会長らの案内で、国の重要文化財に指定された地図などを見学、赤水の偉業に理解を深めた。北茨城市の十石堀親水公園では、県教育財団埋蔵文化財指導員の榎村宣行さんから説明を受け、堀沿いを散策した。小田倉会長は「国田に小

場江用水がある関連で、十石堀をはじめ、県北地域の歴史に触れる機会を設けた。参加者に喜んでもらえてよかった」と話した。

同会は国田地区の史跡など17カ所に案内板を設置し、地元の歴史の周知、継承に努めている。歴史マップも作成する予定。

赤水資料、国重文に指定 ①

寄稿

佐川 春久

2017年に、日本地図の先駆者長久保赤水（1717～1801年）の生涯300年記念の年を迎えた。その年の1月から長久保赤水顕彰会では、東京大学大学院情報学環の馬場章教授の指導の下にホームペー

HP開設業績世界へ

史民俗資料館に韓国テレビのクルーが取材に来た。赤水図に書かれている竹島（このことを、島根大学の松杉力修准教授にお知らせすると、外務省と内閣官房に連絡するようにと）指導を頂いた。その年5月の赤水会の総

展」を、長久保赤水顕彰会と内閣官房の共催で開催することになった。前年、つくば市の国土地理院で開催された展示会のレプリカをお借りして、内閣官房の皆さま方の「尽力により何とか準備が間に合った。初日に会場を訪れると、当時の福井照領土問題担当

大臣とともに、あいさつやテープカットなどをする。その結果、7月2日から8月4日までの期間、日比谷公園の市政会館地下1階の内閣官房領土・主権展示館で、「いったい何者？ 江戸の地図男！ 長久保赤水」にら

大臣とともに、あいさつやテープカットなどをする。その結果、7月2日から8月4日までの期間、日比谷公園の市政会館地下1階の内閣官房領土・主権展示館で、「いったい何者？ 江戸の地図男！ 長久保赤水」にら

大臣とともに、あいさつやテープカットなどをする。その結果、7月2日から8月4日までの期間、日比谷公園の市政会館地下1階の内閣官房領土・主権展示館で、「いったい何者？ 江戸の地図男！ 長久保赤水」にら

大臣とともに、あいさつやテープカットなどをする。その結果、7月2日から8月4日までの期間、日比谷公園の市政会館地下1階の内閣官房領土・主権展示館で、「いったい何者？ 江戸の地図男！ 長久保赤水」にら

大臣とともに、あいさつやテープカットなどをする。その結果、7月2日から8月4日までの期間、日比谷公園の市政会館地下1階の内閣官房領土・主権展示館で、「いったい何者？ 江戸の地図男！ 長久保赤水」にら

大臣とともに、あいさつやテープカットなどをする。その結果、7月2日から8月4日までの期間、日比谷公園の市政会館地下1階の内閣官房領土・主権展示館で、「いったい何者？ 江戸の地図男！ 長久保赤水」にら



ギャラリートークの参加者への説明

赤水資料、国重文に指定 ②

寄稿

佐川 春久

9月30日に、長久保赤水資料693点が正式に国の重要文化財に指定された。上野の東京国立博物館での展示会は、誠に残念ながら実現することができなかった。しかし高萩市などが、すでに設置された重要文化財指定記念の「赤水図」マ

カ」の全国会員への配布や私の「添付地図解説」までも掲載していただいた。さらに先日、同学会のト部勝彦常任委員長と太田弘企画委員長、歴史地理学会の小野寺淳会長の3人に、長久保赤水資料の学術的立場からの解説をお願いし

教科書掲載を日指す

た。その標本をビデオ撮影し、12月27日までウェブ開催されるG空間EXPO2020の「講演・シンポジウム」の中で全国に紹介している。同EXPO2020の「地理空間情報フォーラム」にも長久保赤水顕彰会の赤水先生の動画を公開

定である。今回は、その第一歩を踏むものである。現在、同学会に長久保赤水専門部会の設置をお願いしている。「三川流寛図」があり、「赤水図」があった。伊能図がある。「伊能図」が「一晩でできた」のではなく、先駆者の業績の上

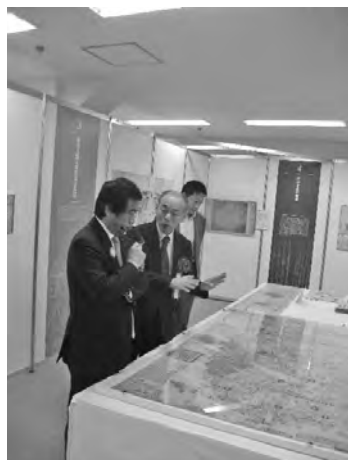
定である。今回は、その第一歩を踏むものである。現在、同学会に長久保赤水専門部会の設置をお願いしている。「三川流寛図」があり、「赤水図」があった。伊能図がある。「伊能図」が「一晩でできた」のではなく、先駆者の業績の上

定である。今回は、その第一歩を踏むものである。現在、同学会に長久保赤水専門部会の設置をお願いしている。「三川流寛図」があり、「赤水図」があった。伊能図がある。「伊能図」が「一晩でできた」のではなく、先駆者の業績の上

定である。今回は、その第一歩を踏むものである。現在、同学会に長久保赤水専門部会の設置をお願いしている。「三川流寛図」があり、「赤水図」があった。伊能図がある。「伊能図」が「一晩でできた」のではなく、先駆者の業績の上

定である。今回は、その第一歩を踏むものである。現在、同学会に長久保赤水専門部会の設置をお願いしている。「三川流寛図」があり、「赤水図」があった。伊能図がある。「伊能図」が「一晩でできた」のではなく、先駆者の業績の上

定である。今回は、その第一歩を踏むものである。現在、同学会に長久保赤水専門部会の設置をお願いしている。「三川流寛図」があり、「赤水図」があった。伊能図がある。「伊能図」が「一晩でできた」のではなく、先駆者の業績の上



福井照領土問題担当大臣に説明

250年以上前に
竹島を日本地図に描いた
水戸の儒学者！

領土・主権展示館 特別展示

いったい何者？ 江戸の地図男！ 長久保赤水展

2018.7.2 mon - 8.4 sat

【会場】市政会館 地下1階 【開館時間】10:00～18:00
【休館日】土・日・祝（7月29日・8月4日は開館）（11:00～17:00）

領土・主権展示館
NATIONAL MUSEUM OF TERRITORY AND SOVEREIGNTY

共催：長久保赤水顕彰会

【入場料】無料

【イベント情報】
●ギャラリートーク（開館時間：10:00～11:00、13:00～14:00）
●マンダラ教室（開館時間：10:00～11:00、13:00～14:00）

領土・主権展示館
NATIONAL MUSEUM OF TERRITORY AND SOVEREIGNTY

共催：長久保赤水顕彰会

【入場料】無料

【イベント情報】
●ギャラリートーク（開館時間：10:00～11:00、13:00～14:00）
●マンダラ教室（開館時間：10:00～11:00、13:00～14:00）

内閣官房と長久保赤水顕彰会共催「いったい何者？江戸の地図男！長久保赤水展」ポスター

国の重要文化財指定を記念して各図書館で赤水展示コーナー続々

高萩市立図書館が2月13日から再開！
めざせ大河ドラマ『長久保赤水関連コーナー』が設置されました。

2021.2.16 高萩市立図書館



日立市立「記念図書館」及び「多賀図書館」でも
『長久保赤水展』が2月8日より開催されました。



日立市立記念図書館（日立シビックセンター内）
1階カウンター前展示コーナー



日立市立多賀図書館（市教育会館内）
1階ギャラリー展示コーナー

赤水の地図、教科書に

高萩・松岡中、授業で解説

高萩市出身の地理学者、長久保赤水(1717-1801年)が作成した日本地図やその功績が、本年度初めて中学校の教科書に掲載された。伊能忠敬が測量して作った「伊能図」より約40年早く完成し、江戸時代の庶民が頼りにしたことが記載されている。同市の関係者は、赤水に関する全国的な顕彰の広がりに期待している。



赤水図の原寸大レプリカを使って行われた社会科の授業。高萩市下手綱の松岡中学校

全国的な顕彰広がり期待



「中学校社会科地図」に掲載された赤水図。高萩市下手綱の松岡中学校

赤水が完成した「改正日本輿地路程全図」(赤水図)について掲載したのは、地理教育図書で知られる帝国書院(東京)の地図帳「中学校社会科地図」で、日本の歴史遺産を紹介するページで、地図の歴史をひもとく一節に載った。

本年度から実施される中学の新学期指導要領に基づき、内容が改訂された。同社の担当者は「古地図の歴史を追う中で赤水図は重要なポイント。伊能図より前に完成したという点で、以前から取り上げたいと考えていた」と話す。

同社によると、同教科書は全国の中学校の9割以上で使われている。長久保赤水顕彰会の佐川春久会長は「二人でも多くの国民に赤水のことが知られることを期待している」と話す。

授業を受けた青藤孝彦さん(12)は「高萩の人が教科書に載ったのはうれしい。赤水さんのことをもっと知っていきたい」と話していた。

顕彰会によると、本年度は同教科書のほか、学研の参考書「ニユーコース日本歴史」にも赤水が完成させた日本地図と世界地図が掲載されている。

赤水は、先人による地図や地誌、官製の国絵図など多くの資料を基に編集、自身の体験と多くの旅人、知人の話も参考に、20年以上の歳月をかけた赤水図を作成した。伊能図は江戸幕府の地図とされたため、多くの庶民が赤水図を幅広く活用した。赤水の関係資料603点は昨年、国の重要文化財(重文)に指定されている。

(小原瑠平)

令和3年4月より
教科書に初掲載!!

祝

「赤水図」(改正日本輿地路程全図)
中学校社会科地図帳に掲載(帝国書院)



その先を往け!
日本地図の先駆者
長久保赤水

和泉元彌さんが赤水役で主演と
ナビゲーターをつとめた作品
(監督・松村克也、製作・高萩市)

郵便局からのお振り込み

郵便局からのお振り込みは、口座記号番号00380-6-9573、加入者名は、長久保赤水顕彰会です。入会していただける方は、年会費 3,000 円、ご寄付をしていただける方は、一口 1 万円です。何口でも結構です。よろしくお願いいたします。



長久保赤水顕彰会事務局

〒318-0103 高萩市大能 341 代表 佐川 春久
電話 : 090-1846-6849
Eメール : haruhisagawa@yahoo.co.jp
ホームページ : <http://nagakubosekisui.org/>



顕彰会
会員募集

長久保赤水顕彰会は全国713名で活動しています(6月22日現在)。国の重要文化財指定記念を機に、会員1,000名を目指し会員を募集しております! また、「通年」の寄付金も募集しております。皆様のご協力をよろしくお願い致します。